

安全衛生対策実施記録	8 月度	作成	承認
		青野	

安全衛生対策会議

実施年月日	平成 20 年 8 月 4 日 (AM・PM) 17時 30分～ AM・(PM) 18時 30分)
実施場所	社内会議室
参加人数	18 名

会 議 内 容

●熱中症について

寒暖の差が大きくなるこの時期は、体調を崩しやすく、風邪など引きやすくなります。

体調の崩れは、熱中症を容易に引き起こすので、暑さ寒さに合わせての服の増減や十分な睡眠などを心掛ける。

●熱中症の手当の基本

【休息】安静にさせる。そのための安静を保てる環境へと運ぶこととなる。

衣服を緩める、また、必要に応じて脱がせ、体を冷却しやすい状態とする。

【冷却】涼しい場所(クーラーの入っているところ、風通しの良い日陰など)で休ませる。

症状に応じて、必要な冷却を行う。

【水分補給】意識がはっきりしている場合に限り、水分補給をおこなう。

意識障害がある、吐き気がある場合には、医療機関での輸液が必要となる。

● 熱中症についてのビデオ観賞(15分間)

